

(6) 民間保育所での取組み

民間保育所では、それぞれの園がそれぞれの特色を活かしながら絵本の読み聞かせを実践したり、絵本コーナーを設置したり、お便りで絵本を紹介するなど、日々の保育の中で、絵本と子どもそして、保護者をつないでいます。
(あけぼの保育園の様子を紹介していただきました。)



24年度に新園舎へ移転をきっかけに「エルマーのぼうけん」のイメージをもった園舎になりました。
エルマーにちなんで名付けられた「クランベリーホール」にて、おはなしの時間。

子どもたちの大好きな階段下の絵本コーナー。
担当の保育士が図書館で読む本を選び、この場所でお迎えの保護者を待ちつつ毎日の読み聞かせを行っています。



全保育室に絵本のスペースがあります。
こちらは乳児の保育室です。
幼児クラスの保育室より低い本棚を設置しています。



関連する取組みの番号
No. 64. 73

(7) とよなか国際交流協会での取組み～「おやこでにほんご」

保育がない、子どもが慣れない、家から遠いなどの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人の居場所を提供するため、豊中市立岡町図書館、庄内図書館、千里図書館で日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行っています。乳幼児を抱え、家に引きこもりがちな外国人女性が安心して参加し、生活や子育てなどの情報交換の場、様々な悩みを相談できる場、リフレッシュできる場となっています。また、読書環境から遠い外国人親子に本と親しむ機会を提供するため、絵本の読み聞かせを随時行っています。



図書館の絵本を活用し、読み聞かせを随時しています。



おしゃべりの時間では、地域や育児の情報が飛び交います。



図書館職員による読み聞かせや遊びの時間も。



図書館休館日は外で活動することもあります



人形劇グループをお呼びして、親子で観覧